

「御坊の偉人」コーナー第二弾で展示



偉人コーナーに木下氏の資料を展示

木下信之氏「ふるさとの地学研究」

寺内町会館



木下信之氏

御坊商工会議所は、情報発信拠点として昨年10月に中町2丁目商店街に開設した「御坊寺内町会館」

坊206の「御坊の偉人コーナー」第二弾として4日から「ふるさとの地学研究」で業績を残した元日高高校教諭の故・木下信之氏を紹介している。

木下氏は昭和15年、御坊市生まれ。和歌山大学工学部を卒業後、日高高校に地学教諭として採用。地学クラブ顧問も務め、ユニークな人となりで同僚や教え

子から慕われた。地学研究者の研究グループ「紀州四万十帯団体研究グループ」や「はてなし団体研究グループ」に所属し、地質学研究の第一線で活躍。平成8年に死去。享年56歳。

木下氏の調査研究資料や地学クラブの研究資料などが展示されている。片山隆館長は「日高高校時代、木下先生に担任をしてもらいました。名物先生として教え子から慕われた木下先生の業績を多くの方に知っていただきたい。ぜひ来館下さい」と話している。

偉人コーナーは第一弾として「ハス博士」として知られる故・阪本祐二氏、御坊市蘭、元日高高校教諭の業績も紹介中。

メインの展示は現在、御坊祭・下組の屋台や祭り衣装などを展示中。今月中旬から戯瓢踊り特集。

今月から開館日は毎週火・金・土・日曜日と祝日、開館時間は午前11時から午後4時までに変更している。